

熊本地震被災地（熊本県南阿蘇村）派遣職員の活動報告について

平成 28 年 5 月 13 日（金）から 5 月 31 日（火）まで、熊本県南阿蘇村でり災証明書発行業務等に従事する派遣職員のうち第 1 班が帰豊しましたので、被災地での活動状況を報告します。

記

1. 派遣期間（第 1 班）

平成 28 年 5 月 13 日（金）～平成 28 年 5 月 20 日（金）

※第 2 班：5 月 19 日（木）～5 月 26 日（木）

第 3 班：5 月 25 日（水）～5 月 31 日（火）

2. 派遣場所

熊本県南阿蘇村

3. 派遣職員

第 1 班	納税課	大木 立人(49)	市民税課	土屋 悠輔(30)
-------	-----	-----------	------	-----------

4. 活動内容

り災証明にかかる現地調査及びり災証明書発行事務等

※詳細は別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

人事課 課長補佐 大林 均世 ☎51-2039

平成 28 年 熊本県南阿蘇村での活動報告について

1. 活動概要 南阿蘇村白水庁舎を拠点に村内の被災家屋約 4,500 棟の被害認定調査及びり災証明書の発行業務

2. 体制 り災証明関係業務については、南阿蘇村職員のほか全国からの派遣職員約 60 人が従事し、3 人 1 組のチームを編成して現地での被害認定調査にあたるとともに、5 月 19 日（木）からは 2 人 1 組でり災証明書の発行業務を行った。

3. 活動内容

月 日	活動内容
5 月 13 日(金)	14 : 25 熊本空港着 レンタカーにて南阿蘇村へ移動 16 : 30 南阿蘇村久木野庁舎着 災害対策本部にて挨拶、派遣職員の登録等手続を行う。
5 月 14 日(土)	8:30 白水中学校着（り災証明発行本部） 簡単なレクチャーを受け、現地調査へ出発 17:15 調査結果を提出し、簡単なミーティングの後解散
5 月 15 日(日)	終日現地調査
5 月 16 日(月)	8:30 白水中学校着 雨天につき書類整理等の調査準備を行う。 10:00 益城町・熊本市等被害の大きい地域を視察
5 月 17 日(火)	終日現地調査
5 月 18 日(水)	8:30 白水中学校着 現地調査へ出発 13:30 久木野庁舎にてり災証明発行受付の研修を受講など （り災証明の概要、システムの操作方法等）
5 月 19 日(木)	8:00 ホンダ技研熊本製作所（大津町）着 終日り災証明の発行受付事務に従事
5 月 20 日(金)	8:30 第二班に事務引き継ぎを行う 12:00 阿蘇熊本空港着レンタカーの返却を行う。 16:20 中部国際空港着

4. 所 感

今回、被災家屋の調査から発行受付事務まで災害証明に係る大きな流れを経験することができました。なかでも被災時において、災害証明の発行体制をどのように作るべきか大変参考になりました。

今回南阿蘇村で経験したことを糧として、豊橋市においても、大規模災害が発生した際、効率的な災害証明の発行体制が作れるよう提言していきたいと考えています。

最後ながら、南阿蘇村をはじめとする被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

